

1. 実況上の着目点

- ① 500hPa 5100m付近で-42℃以下の寒気を伴う寒冷渦が中国東北区にあって、東南東進。対応する低気圧が日本海を東北東進。
- ② 前線を伴った低気圧が日本の東にあって、東北東進。この低気圧周辺を波源とするうねりにより、東日本太平洋側では、波が高い所がある。
- ③ 東シナ海に中心を持つ高気圧があって、ゆっくり東へ移動。西日本は高気圧に覆われ、晴れている所が多い。

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の寒冷渦は、20日夜は日本海北部付近へ、21日夜は千島の東へ進む。対応する1項①の低気圧は、発達しながら20日夜は日本海北部へ進みその後不明瞭になり、閉塞点上に発生する低気圧が21日朝に千島近海付近へ進む。前線や低気圧周辺では気圧の傾きが大きくなり、雪を伴った強い風や局地的には非常に強い風が吹き、波が高くしける所がある。また、低気圧や前線に向かう下層暖湿気と上空寒気の影響で大気の状態が非常に不安定となる所がある。北日本では21日にかけて、暴風雪に警戒。北～東日本では21日にかけて、強風や風雪、高波、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ② 1項②の低気圧は、引き続き東進し日本から遠ざかるが、低気圧周辺を波源とするうねりにより、波が高くなる所がある。東日本太平洋側では20日は、うねりを伴った高波に注意。
- ③ 1項③の高気圧は、20日は黄海から朝鮮半島付近、21日は日本海から本州付近、22日は日本の東へ移動する。本州付近は高気圧に覆われ、21日を中心に晴れる所が多い。日中の昇温で雪解けが進むため、北～西日本の積雪の多い傾斜地では22日にかけて、なだれに注意。
- ④ 2項①の前線が21日にかけて北～東日本を通過後、北日本には850hPa -12℃以下の寒気が流入し、降雪が強まり大雪となる所がある。北海道地方では21日は、大雪や着雪、なだれに注意。
- ⑤ 22日は、前線が華中から東シナ海へのび、500hPa 5700m付近のトラフに対応し、前線上に低気圧が発生、22日夜は西日本へ進む。前線や低気圧に向かう下層暖湿気の影響で大気の状態が不安定となり、雷を伴った激しい雨が降り大雨となる所がある。西日本と南西諸島では22日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、落雷や突風に注意。また、気圧の傾きが大きくなるため、強風や高波にも注意。

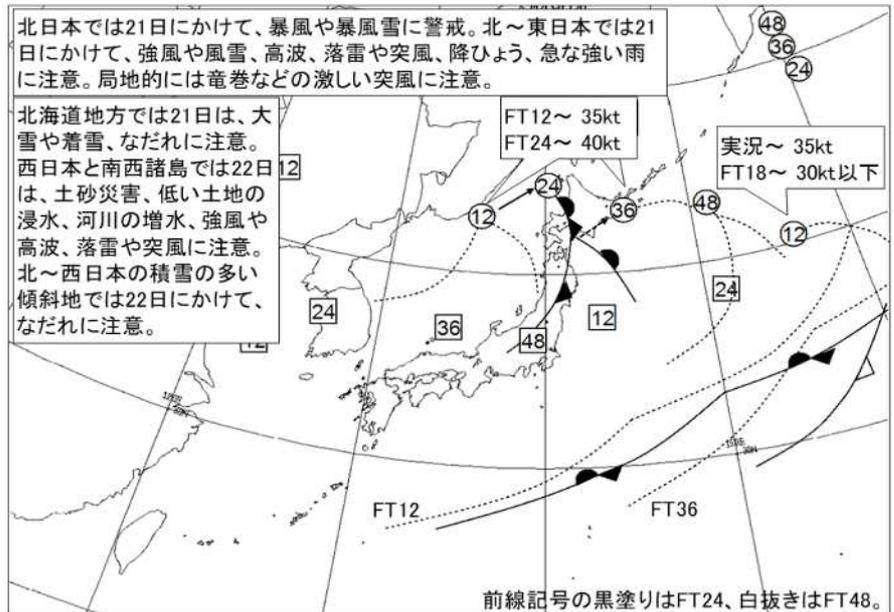
3. 数値予報資料解釈上の留意点

総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】

- ① 雨量(06時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。
- ② 降雪量(06時からの24時間)：北海道40cm。
- ③ 波浪(明日まで)：北海道・東北・北陸4、関東・伊豆諸島・東海3m。
- ④ 高潮(明日まで)：大潮の時期。西日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。



主要じょう乱解説図